

令和2年度 第1回 玉城町総合計画審議会

日時：令和2年8月3日（月）14:00～15:20

場所：町役場3階第1委員会室

1. 挨拶

2. 議題

- (1) 第6次玉城町総合計画基本構想（案）について【資料2, 3, 4】
- (2) 第6次玉城町総合計画基本計画について【資料5】
- (3) その他【資料6】

【配布資料】

資料1：総合計画審議会委員名簿

資料2：第6次玉城町総合計画基構成

資料3：第6次玉城町総合計画基本構想（案）

資料4：第6次玉城町総合計画施策体系

資料5：第6次玉城町総合計画基本計画記載イメージ

資料6：令和2年度策定スケジュール

【議事録】

1. 挨拶

事務局：【開会、あいさつ】

会 長：【あいさつ】

2. 議題

(0) コロナ対策の関連事業について

事務局：【参考資料説明】

委 員：コロナ対策として町内でのマニュアル対応などはどのようになっているのか。

事務局：役場で発生した場合、町内で発生した場合などのマニュアルは無いが、行動計画に基づいて対策を進めていくことになっている。

委 員：夏休みの扱いも自治体によってそれぞれで決められている状況であり、学校、商業施設、役場などでの初期対応になどの具体的な対応、PCR検査などについて町民は関心を持っている。

事務局：個別具体的なことはこれから考えていきたい。

(1) 第6次玉城町総合計画基本構想（案）について

事務局：【資料2, 3, 4説明】

会 長：事務局から説明に対して、質問等あればお願いしたい。

委 員：資料4の第5次後期基本計画の施策体系と第6次総合計画の施策体系を見て、第5次と第6次で変わったものは何か。町の主要課題はあるが、コロナ関係も含め、国・県の流れも変わると

思うが、高齢者対策も含めここに力を入れたい、もっとこうしたいということは何か。

事務局：第5次から第6次で変わったこと、第6次の特徴として、総合計画ではあまり尖ったものを出しにくく、各分野を全て押さえていくことが必要である。そのため、19ページの基本計画の総論で「まちづくり戦略」、「SDGsとの関係」、「新しい生活様式の実践」などで力を入れていくことを考えていきたい。また、防災についても重点として考えていきたいと考えている。また、8ページの重要度や満足度では、Aの重点維持項目は重要度も満足度も高い施策で福祉関連が多くある。また重要度も満足度も低いDの推移注意項目は産業などの施策があり、行政と住民の思いにギャップがある部分もあるが、ここにも力をいれていくことを考えている。

委員：コロナ関連で子育て世帯や高齢者でないと危機感が無く、他の住民にとってプレミアム商品券なども喜ばれていないのではないかな。

委員：防災関係としてBCPの策定などを計画の中に入れていくのか。その考えはあるのか。商工会では来年度に町内企業のBCP策定への支援を進めていくことを考えているが。

事務局：BCPは町内でも大企業では策定している。それぞれの会社の基準で作られているため、全体を調整する所は必要であると考えている。BCP策定推進については大事なことであるため、基本計画の中で考えていきたい。

委員：資料3の11ページの玉城町の主要課題にもあるように、町が助け合いの仕組みづくりを先行的に行い、それによって団体も活動している。しかしコロナ禍で情報伝達に課題があると認識している。コミュニティでの情報伝達ができなくなっている。行政と団体、団体間での情報伝達を今後、どのように進めていくのか。

事務局：現在、コロナ禍で会合も開けない状況であり、情報伝達は町からの広報紙、防災行政無線での広報となっている。防災行政無線は機器を更新し、アナログからデジタル化を行っていくことになっている。また、LINEなど新しい伝達方法も提案していきたい。また、住民ニーズを聞き取る方法もしっかりと考えていきたい。特に自治会とは会合が持てないため、連携できる方法を考えていきたい。

委員：SNSやLINEの活用は進めてもらいたい。紙媒体では限界であり、防災行政無線は聞こえない所もあるため、SNSを活用していくことをコミュニティでも進めてもらいたい。また、将来人口については、もう町内だけでは増やせないため、移住してもらわなければならないが、自治会に入らない人が増え、自治会でも苦勞している。自治会に入らなくても問題ないということにならないように検討をお願いしたい。みんなが助け合うように、役場だけに頼らないように、自分達でも前向きに取り組めるように10年先を見据えて考えてもらいたい。

事務局：自治会に加入しないことは問題であると考えている。人口が減少しているものの、移住者が多いのは町の特徴であるが、自治会に入らない、入れたくないなどの問題がある。そのため、池山先生とも相談しながらアンケートでどうやったら入りたくなるかを調査しようと考えている。区に入れられない人はどこに属するのか、このような区域外者が2割くらいになっており、ごみ集積や回覧などが複雑になっている。少なくともこれから移住して来る人には自治会に入ってもらえるような仕組みが必要であると考えている。特に任意団体の場合、誰に紹介していいのかもわからないため、団体への加入促進について、基本計画の中で検討ができればと考えている。

委員：3ページの計画策定の背景のまちの概要で、町の東は伊勢市、西は多気町、北は明和町となっているので、南の度会町も入れてもらいたい。

委員：第6次総合計画への変更と行政としての継続性の両方が町の総合計画には求められるが、14ページのまちの将来像のスローガンは継承して使う、変わらないとしている。しかし、時代の変化への対応も必要であり、過去5年、10年で社会は激変してきている。人口は増加から減少に転じ、人口構造も高齢化はあまり進んでいないが、年少人口は減って学校を維持することが大変になっている。今後はSociety5.0による産業革命や、新型コロナで新しい生活様式に変わること、社会はガラッと変わることが考えられる。このように、これまでを継続していくことと、変化に対応していくことが必要であり、人口減少対策、with コロナ、SDGsなど、第5次からの変化について中身を議論して考えていかななくてはいけない。

委員：コロナの関係で観光での集客、県外から来ることに町としてどう考えているのか。農業においても観光面での取組みができなくなっており、経営を変える必要が出てきている。

事務局：商工業、農業、観光業がこのまま落ち込んでいくのなら、行政として手を差し伸べる必要がある。現状として町が何をしたいのかわからないため、支援内容についての意見交換をしたいと考えている。今はどう経営を維持するか、回復させるかであるが、今後はwith コロナとしての対策を考えていきたい。

(2) 第6次玉城町総合計画基本計画について

事務局：【資料5説明】

会長：基本計画をこのようなスタイルで考えているということで、このような記載方法で良いのかを協議いただきたい。

委員：新しい生活様式などで、過去のデータとは全く違う視点が必要になる。基本計画の作成にあたってはそれらの視点を見落とさないように考えてもらいたい。特に新しい生活様式で子育ての方法も家庭の事情などで異なってくるなど、これまでと違う視点で見ていく必要がある。

事務局：急激な変化を予測することが難しいため、実施計画の中で対応できるようにしていきたい。

委員：ギガスクールによって子ども達はパソコンを学校に置いたままなのか、ランドセルに入れて背負って持ってくるのか。

事務局：学校に置いたままにしている。

会長：基本構想は10年間、基本計画は5年間、実施計画は3年間ローリングで策定することということで、それぞれに載せるべきこと、考えるべきこと、何を書くべきかをきちんと考えてもらいたい。

事務局：皆さんから意見をいただいたBCP、情報伝達、コミュニティなども含め、第5次から第6次への変化や特徴を打ち出したい。また、新しい生活様式も踏まえ、事業レベルで推進し、特徴を出していきたい。

(3) その他

事務局：【資料6説明】

事務局：9月に審議会を2日間にわたって開催し、基本計画を検討したい。また、9月に住民懇談会

を予定していたが、コロナの関係で現状は住民が集めるのは困難であり、パブリックコメントとは別の方法で意見を徴収することを考えている。

会 長：他に何か質問等は。無ければ以上で審議会を終了したい。ありがとうございました。

以上